

特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R8.9.11(金)

第3号

文責 鈴木尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいて活動している事業です。4月から7月までの取組についてお知らせします。

ササユリの保護活動を行いました

本校では、毎年6年生が、総合的な学習の時間にササユリの保護活動に取り組んでいます。ササユリは西日本に多く生息するユリの原種で、生育が遅く種子から開花するまでに7年から8年かかるといわれ、手入れをしていないところでは自然に見ることが困難な植物です。

今年度も地域で長年にわたり、ササユリの保護活動をしてみえる中根様を講師にお迎えし、学習を進めてきました。昨年度からは高学年が複式学級となり、5・6年生で取り組んでいます。6年生は2年目の取組となるため、5年生をリードして、ササユリの保護活動に取り組みました。

5月28日。学区の古美山園地に出かけ、中根様からササユリの生育についてのお話を聞いたり、ササとササユリの見分け方を教えていただいたりしました。その後、古美山園地内を散策し、中根様と一緒にご準備いただいた竹を刺していきます。5年生が6年生に「これササユリ？」と問いかけます。すると、「そうだよ。刺していいよ」と優しく返答する6年生の姿が見られました。中根様も目を細めながら6年生の姿を頼もしそうに見守ってくださいました。

古美山園地での学習を終えた翌週に学校内の個体数調べを行いました。個体を探して咲いている場所にポールを立てる活動をしながら校内地図に場所を書き記します。はじめに「ササユリ教室」周辺の個体数調べを全員で行い、その後、校内の東側・西側の二手に分かれて行いました。愛鳥タワーの南側の山道だけで40個以上のササユリを見つけることができました。花を咲かせるまでにはまだ数年かかりそうな小さなものをたくさん見つけられた子どもたちからは、「こんなところにこんなにたくさんあるんだね」「来年咲くかな。咲いていたら嬉しいな、楽しみ」などの声が聞かれました。

このように先輩たちから受け継がれているササユリの保護活動を続けることは、地域の自然を守り、地域を愛する活動につながっています。学習した内容を今後下級生に発表する5・6年生。今年は、学芸会でも学習の成果を発表し、保護者や地域の方にもお伝えしたいと考えています。

